

第3章 施設の状態等

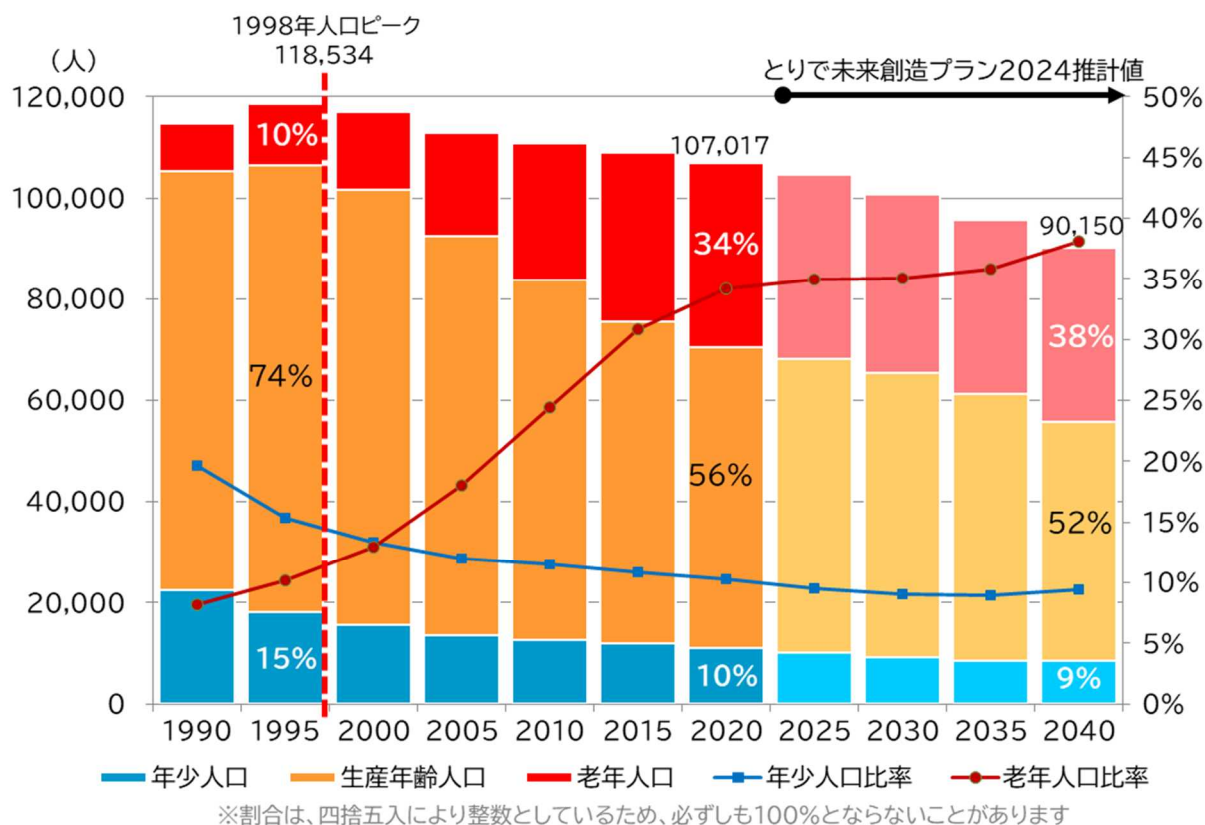
3-1 自転車駐車場の運営状況・活用実況等の実態

(1) 取手市の将来人口の推移

① 市内総人口

市の総人口は、平成10年(1998)の11.8万人をピークに減少傾向にあり、令和22年(2040)には約4分の3に減少し、2.8人に1人が老年人口(65歳以上)になると予想されています。

図表 3-1 人口状況



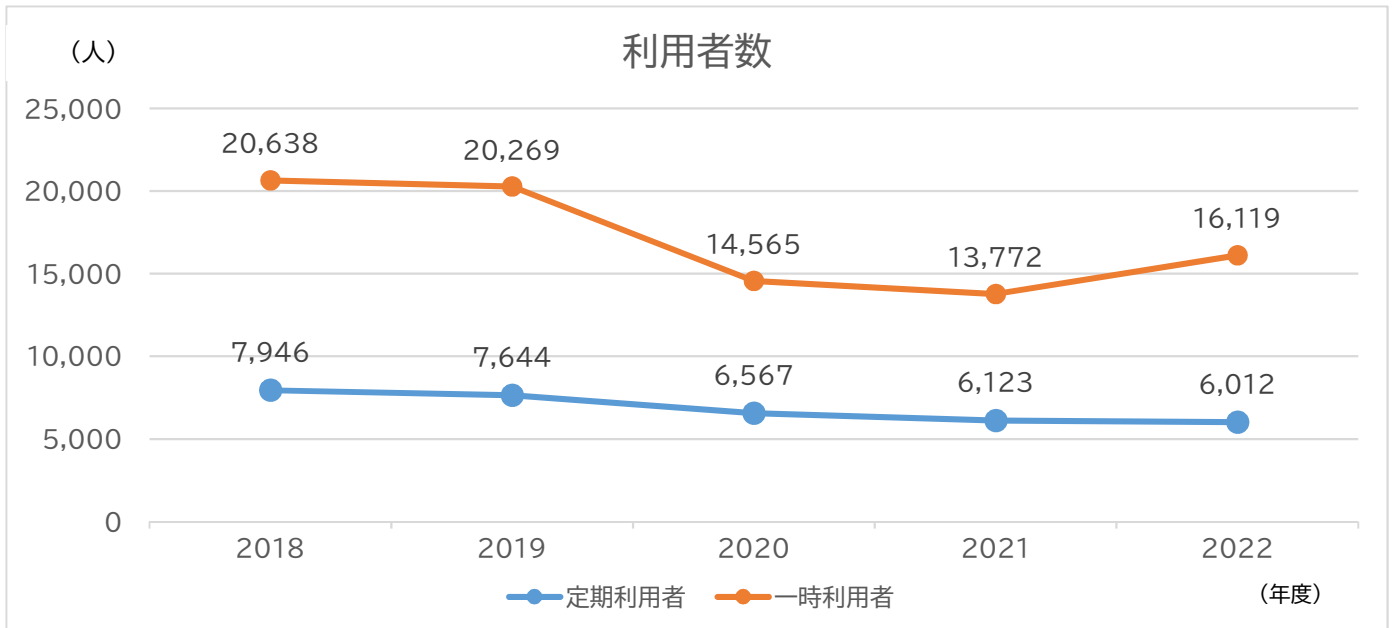
出典：第六次取手市総合計画 基本計画「とりで未来創造プラン2024」

② 人口減少推移による影響

今後の高齢化による生産年齢人口の減少により、自転車駐車場の利用者数の低下、また、それによる収入の減少が予想されます。

(2) 現在の利用状況

図表 3-2 サイクルステーションとりでの利用者数



※新取手駅自転車駐車場については、無料の自転車駐車場であるため、利用者数は把握していません。

(3) 利用状況の変化

利用者数は全体的に減少傾向であり、令和2年度(2020)以降は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に利用者が減少しました。令和4年度(2022)からは利用者が戻りつつありますが、生活様式や働き方の変化等により、令和2年度(2020)以前の利用者数までは増加しないことが想定されます。

(4) 自転車駐車場の配置状況

本計画の対象となるサイクルステーションとりで、新取手駅自転車駐車場の市内の配置状況は以下のとおりです。

図表 3-3 自転車駐車場の配置状況

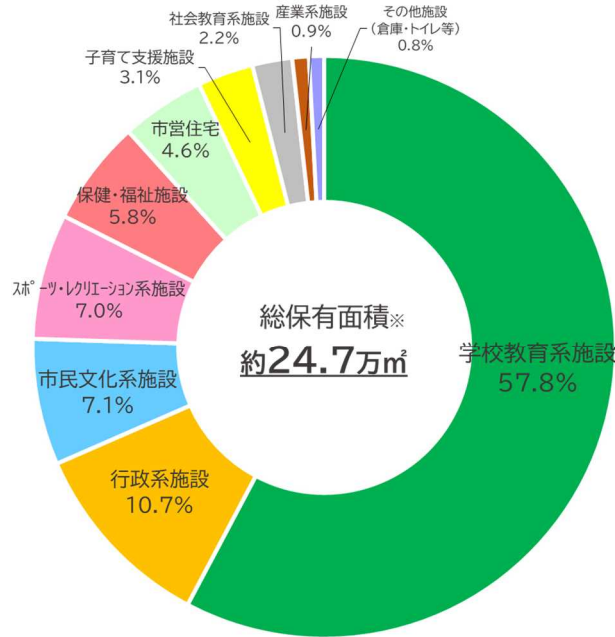


(5) 自転車駐車場の保有量

① 自転車駐車場の現状

本市は平成 27 年(2015)時点で約 24.7万㎡ の公共施設を保有しています。
自転車駐車場については、1,978㎡を保有しています。(本計画対象施設のみ)

図表 3-4 類型別公共施設保有割合



※総合管理計画策定(H27年)当時の保有面積

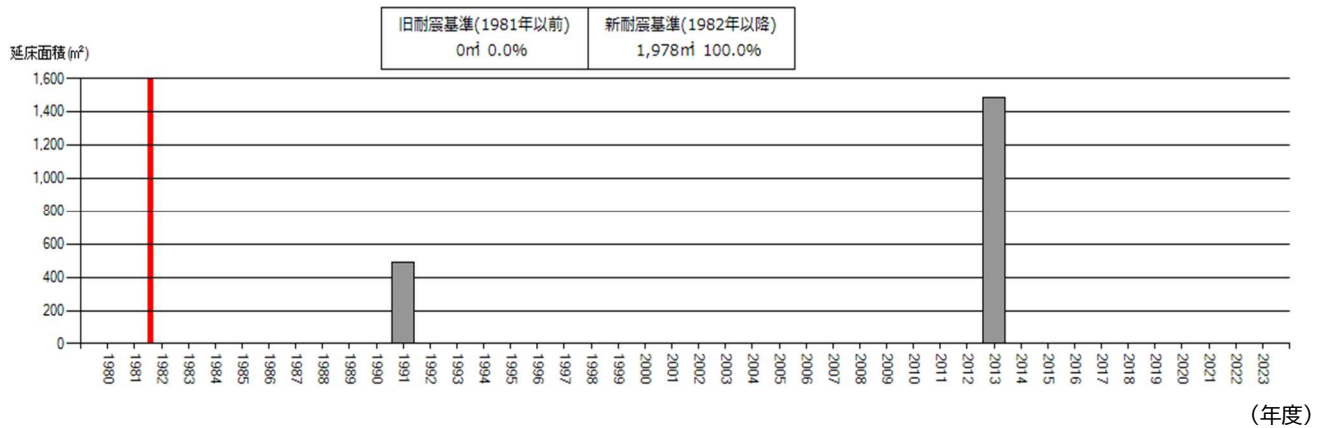
出典：取手市公共施設等総合管理計画

② 築年別整備状況

サイクルステーションとりでは平成 25 年(2013)に建設された施設であり、建築後 10 年が経過しています。現在のところ、一部劣化はあるものの大きな不具合はなく良好な状態です。

新取手駅自転車駐車場は平成3年(1991)に建築された施設であり、既に建築後32年が経過しています。現在のところ、老朽化による目立った不具合等はありませんが、本計画期間中に大規模改修工事の実施を検討していきます。

図表 3-5 自転車駐車場の築年別整備状況

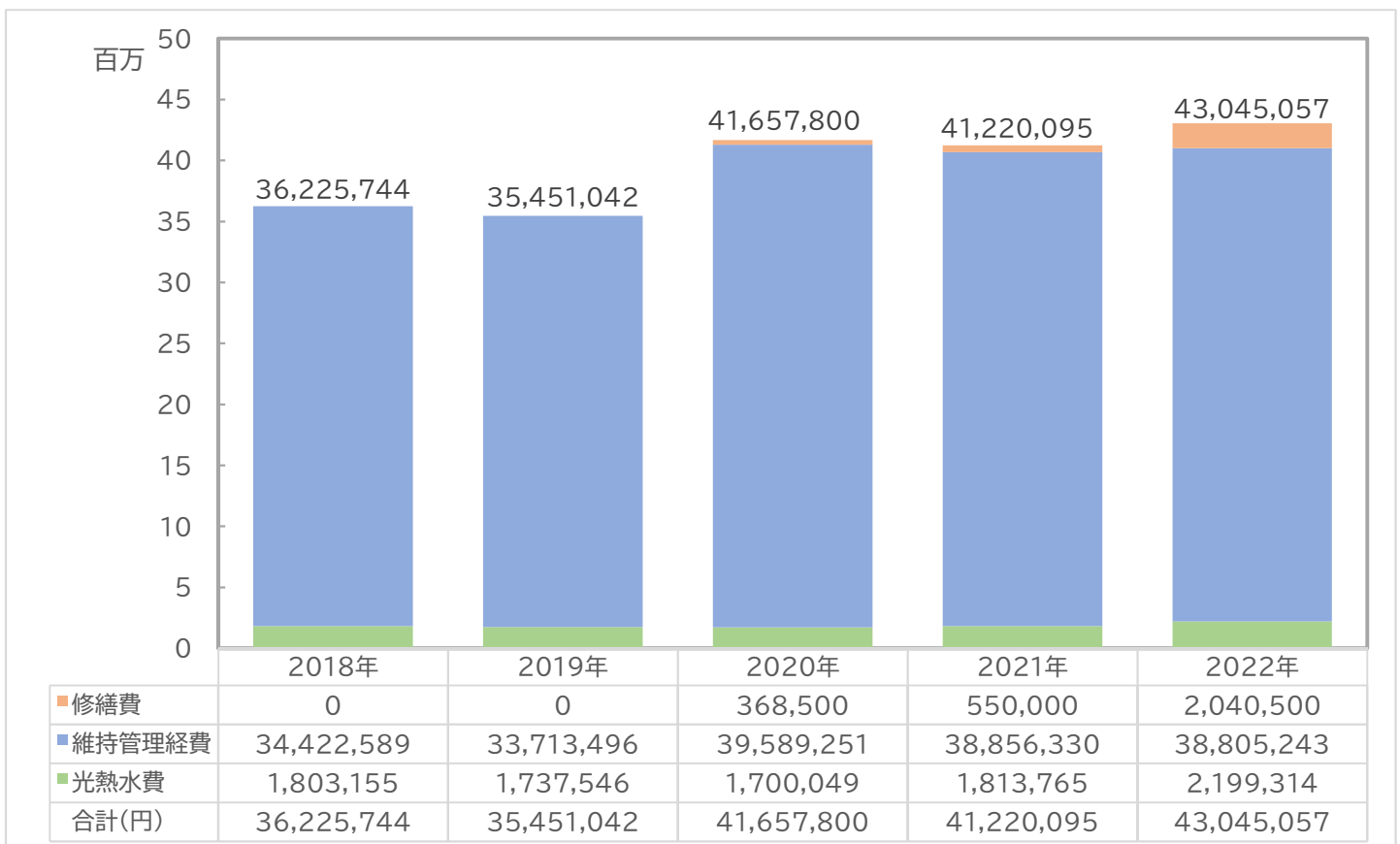


(6) 施設関連経費の推移

現在、施設関連経費のほとんどをサイクルステーションとりでの管理委託料が占めている状況であり、推移は全体的に横ばいです。

管理委託料の内訳は、人件費が約 7 割、清掃や機器点検の費用が約 3 割です。今後は、物価や人件費の高騰に伴う委託料のさらなる増加が予想されます。

図表 3-6 自転車駐車場の施設関連経費の推移

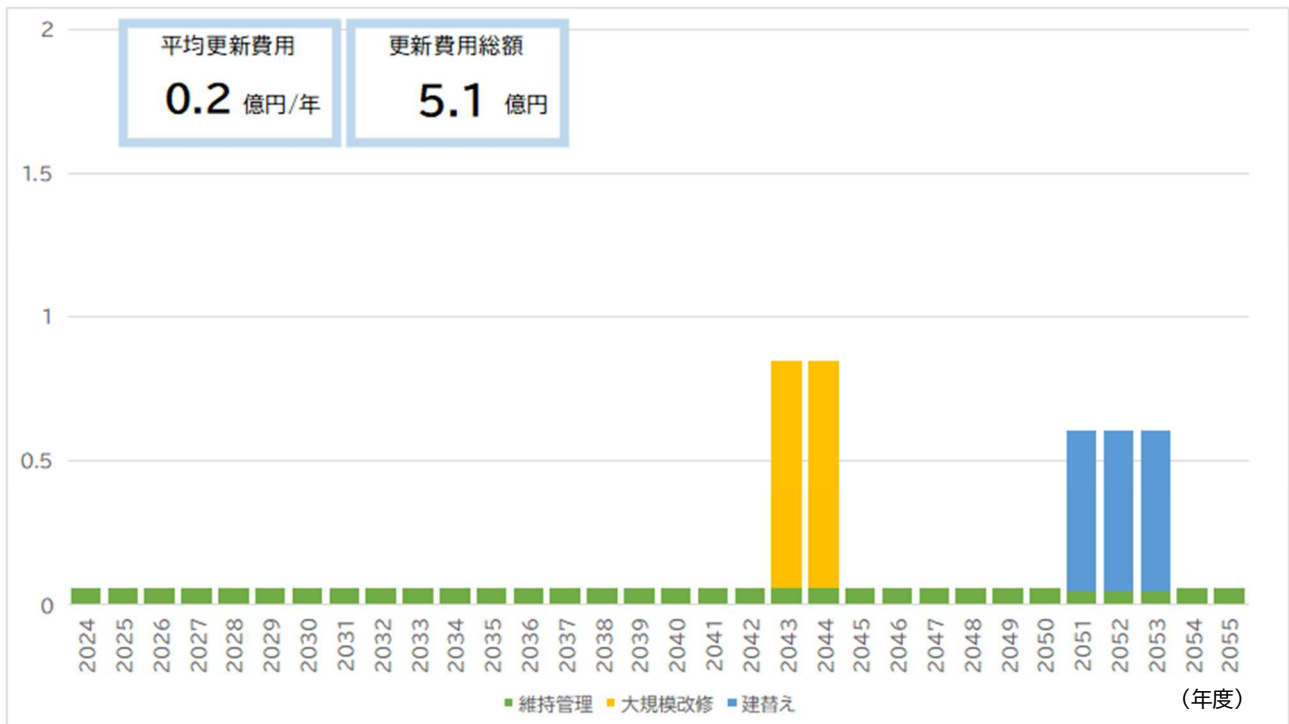


(7) 今後の維持・更新コスト(従来型)

従来どおり30年で大規模改修、60年で建替を行う場合、計画期間内にサイクルステーションとりでは建築後30年の大規模改修、新取手駅自転車駐車場は建築後60年の建替を行うと仮定することができます。総合管理計画の単価設定を基に試算すると、管理・更新にかかる費用は以下の図表のとおり、今後約30年間で総額5.1億円となります。

図表 3-7 自転車駐車場の今後の維持管理更新コスト(従来型)

(億円)



(8) 各施設の概要

施設名称 サイクルステーションとりで

所在地	取手市中央町2番17号	地区	取手地区
所管課	安全安心対策課		
用途	駐輪場		
配置形態	単独施設		
延床面積(施設全体)	1,490 m ²	敷地面積	906 m ²
棟数	1		
運営形態	管理委託契約	運営時間	4:00~1:00
定休日	年中無休		
避難所指定	特になし		



棟情報 番号	棟名称	延床面積	耐震性	構造	建築年	築後年数	耐用年数	劣化状況
10001	サイクルステーションとりで	1490	○	鉄骨鉄筋コンクリート +鉄骨造	2013	11	60	26.00

サイクルステーションとりで収容台数

873台(機械式456台、自走式337台、原動機付自転車80台)

施設名称 新取手駅自転車駐車場

所在地	取手市新取手1丁目4717番地1	地区	高井地区
所管課	安全安心対策課		
用途	駐輪場		
配置形態	複数棟施設		
延床面積(施設全体)	488 m ²	敷地面積	241 m ²
棟数	1		
運営形態	直営	運営時間	0:00~0:00
定休日	24時間年中無休		
避難所指定	特になし		



棟情報 番号	棟名称	延床面積	耐震性	構造	建築年	築後年数	耐用年数	劣化状況
	新取手駅自転車駐車場	488	○	鉄骨造	1991	33	60	40.73

新取手駅自転車駐車場収容台数 363台

3-2 自転車駐車場の劣化状況の実態

自転車駐車場の劣化状況は、当市で導入している公共施設マネジメントシステム(以下「システム」という。)の総合劣化度を判定基準とします。

(1) 総合劣化度

統一的な基準で、建物の劣化状況を把握するため、建物調査シート(巻末:参考資料)を用いて、建物ごとに調査を実施します。調査の結果はシステムに入力します。システムは、入力結果から各建物の部位ごとの劣化状況を a から d で判定し、各部位の調査結果、築年数や改修状況を加味した総合劣化度を算出します。総合劣化度は、20 点から 100 点となり、点数が高いほど劣化が進行しています。

(2) 自転車駐車場の総合劣化度一覧

建物点検を行い、その情報をシステムに入力した結果は、以下のとおりです。

■ サイクルステーションとりで

建築年数が浅く、おおむね良好ですが、修繕を要する箇所が複数ある状況です。また、施設内の一部の照明器具が LED 器具ではなく、蛍光灯の製造が令和9年(2027)で終了することから、LED 化改修が必要な状況です。

なお、令和2年度(2020)～令和4年度(2022)までの3カ年でエレベーターの配電盤、ドアハンガー、ドアセンサー、ガバナロープを修繕しています。

■ 新取手駅自転車駐車場

塗装の剥離や電灯の故障が複数箇所あり、サイクルステーションとりで同様、LED 化改修が必要な状況です。

図表 3-8 自転車駐車場施設の総合劣化一覧

整理番号	施設名	整理番号	建物名	調査日	総合劣化度	築後年数	躯体			外部仕上げ			外構			電気設備				給排水衛生設備				空調換気	その他の設備		主要室	
							基礎・杭	地下	地上	屋根・屋上	外壁	外部開口部	舗装	雨水排水	門及びフェンス	植栽	受変電設備	電灯・コンセント設備	防災設備	その他(電)	給水設備	排水設備	衛生器具設備	消火設備	空調設備	昇降機設備	機械駐車設備	廊下
180	新取手駅自転車駐車場	-	新取手駅自転車駐車場	2023/06/21	40.73	33	a		a	a	a					d						a						a
162	サイクルステーションとりで	10001	サイクルステーションとりで	2023/06/23	26.00	11	a	b	a	a	a	a	b	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	c	a